

# 地盤工学会関西支部 地震・耐震工学に関する技術講習会 開催報告

公益社団法人 地盤工学会 関西支部 行事・広報グループ幹事

## 1. はじめに

近年、国内において地震災害により貴重な人命と財産が失われていることに加え、インフラ・ライフラインの損傷や公共サービスの低下など、莫大な経済損失が発生しています。また、近い将来に南海トラフ巨大地震や首都直下型地震といった甚大な被害をもたらす地震が発生するとされており、地震・耐震工学の知識を含めた技術力の向上が強く求められています。そこで地盤工学会関西支部では、耐震設計技術の体系的かつ本質的な理解を目的とする地震・耐震工学に関する技術講習会を企画・開催しましたので、その概要について報告致します。

講習会では、京都大学防災研究所の後藤 浩之先生、神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻の鎌田 泰子先生、阪神高速道路(株)技術部技術推進室の篠原 聖二先生を講師にお招きし、地震・耐震工学概論や耐震設計の基礎、耐震補強の基礎として、理論から現場における対応まで幅広い内容をご講義頂きました。

## 2. 地盤工学会関西支部 地震・耐震工学に関する技術講習会概要および状況

日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）13:30～17:10

場 所：大阪府男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）セミナー室

参加者：19 名（特別会員 11 名、正会員 3 名、非会員 5 名）

## 3. おわりに

今回の技術講習会ではご多用の折、多くの方々にご参加頂き、誠にありがとうございました。皆様に深く感謝するとともに、今後も地震・耐震工学に関する知識と技術を学ぶ場としてご参加いただければ幸いです。

### 開催状況

#### 講義の様子

